

# ベストセラーとなった前著を全面的にリニューアル 再治療をしないための“エンドの鍵”とは？

新 楽しくわかる

クリニカルエンドドントロジー 小林千尋 著

■A4判/248頁/オールカラー ■定価 9,450円 (本体 9,000円+税5%)

ISBN978-4-263-44356-9

## CONTENTS

### I 編—序説

### II 編—理論的背景

1. 病因としての細菌
2. 感染経路としての根管
3. 根尖孔外の細菌
4. エンドの有効性

### III 編—術式の科学

1. エンドのための解剖学
2. 根管洗浄
3. 貼葉
4. 根管充填
5. 難治性根尖性歯周炎の診断と治療
6. 顕微鏡を用いたエンド
7. ファイル破折
8. 歯髄保存か抜髄か

### IV 編—臨床

1. 診断のポイント
2. 診断の難しさ
3. 髄腔開拓のポイント
4. 根管口付近の拡大
5. 根管口の位置と数の確認
6. 根管作業長の決定(根管長測定法)
7. 根管形成
8. 根管形成に関するそのほかの疑問
9. 洗浄方法
10. 根管充填
11. 再治療
12. 破折ファイルの除去
13. 除去できなかった場合
14. その他
15. 経過観察



日常臨床で最も基本となる術式であるエンド治療は、補綴処置の基礎でもあり、その予後を支える重要な治療です。また、見えないところを見えないまま器具を用いて治療するため、高度なテクニックを必要とします。

本書は、困難症例への対応や臨床からうまれたエンド治療の疑問点を「ひとつひとつ解決する」ことをコンセプトに、歯内療法の理論的裏づけ、術式の科学的根拠、そして臨床の実際までを、約220の項目に整理し、よりよい治療のポイントをわかりやすく解説しました。

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10

TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp>

# エンド治療の疑問点や困難症例への対応について、理論に裏付けられたよりよい治療のポイントを約220項目に整理。臨床から生まれた疑問にわかりやすく解答した解決策が必ず見つかる一冊!

## CONTENTS

### I編 序説 (抜粋)

エンドは不完全な治療である  
治らない感染根管治療  
なぜ感染根管治療が治らないか  
誰も根尖部の根管を洗っていない  
根管形成は確実な根管洗浄のために  
行う  
根管洗浄が確実にできるような根管  
形成がされていれば根管充填も確  
実にできる  
根管充填材は長期間にわたって吸収  
されにくく収縮しにくいものがよい  
どのような治療がよい治療か

### II編 理論的背景 (抜粋)

**1. 病因としての細菌**  
エンドは細菌との戦いである  
細菌が存在しなければ根尖病巣はで  
きない  
根管内に死腔があるだけでは根尖病  
巣はできない  
炎症歯髄は感染していると思え  
コラム: 抜髄と感染根管治療の分類

**2. 感染経路としての根管**  
太い根管ほど根尖病巣ができやすい  
ずれた根尖病巣 (側枝・根尖分岐の  
重要性)  
コラム: 象牙細管の大きさ

根管が空洞だと大きな根尖病巣が早  
くできる  
すべての根管充填はいずれ漏洩する  
根管充填材は長いほど漏洩が少ない

**3. 根尖孔外の細菌**  
根尖孔外に細菌はいるか  
セメント質内にも細菌がいることが  
ある  
バイオフィームが細菌を生かさせる

**4. エンドの有効性**  
エンド (非外科的) でどのくらい治  
るのか  
再治療は成績が悪い  
大きな根尖病巣のある歯は成績が悪い  
歯根嚢胞は非外科的エンドで治るか

### III編 術式の科学 (抜粋)

**1. エンドのための解剖学**  
歯冠歯髄腔の形態  
根管の数・形態—第四根管の存在と  
2 根管性に留意する

根尖狭窄部は通常存在しない  
根尖孔の数・形態  
根尖孔の大きさや根尖病巣の成り立ち  
**2. 根管洗浄**  
根管洗浄の必要性  
根管洗浄とは  
どの程度まで洗浄するか  
シリンジによる洗浄の問題点  
洗浄液には何を使うか  
ヒポクロリットの事故  
超音波吸引洗浄法

**3. 粘薬**  
根管粘薬の必要性は一感染が軽度  
の場合は必ずしも必要ない  
水酸化カルシウムの根管消毒薬とし  
ての有用性は

**4. 根管充填**  
垂直加圧根管充填は過剰根管充填  
ではないのか  
コラム: 成功率とは

ガッタパーチャは痩せる  
根管充填材は何 mm 根管内に残す必  
要があるか

**5. 難治性根尖性歯周炎の診断と治療**  
難治性根尖性歯周炎とは  
難治性根尖性歯周炎の診断  
難治性根尖性歯周炎の歯外療法  
—根尖病巣への直接的な働きかけ

**6. 顕微鏡を用いたエンド**  
**7. ファイル破折**  
**8. 歯髄保存か抜髄か**  
どのようなときに抜髄するか

### IV編 臨床 (抜粋)

**1. 診断のポイント**  
痛みのある歯はどれか  
症状の原因は何か  
抜歯するかどうかを決める  
治療方針を決める  
診断の方法と使用器具  
コラム: 触診の重要性

**2. 診断の難しさ**  
う蝕がなく、深いポケットも見つか  
らないが患者さんは痛いという。  
抜髄する必要があるか  
そこらじゅうが痛いというが、痛み  
の原因はどの歯か

**3. 髄腔開拓のポイント**

髄腔開拓の手順  
髄腔開拓はなぜ必要なのか  
髄腔開拓のコツ  
髄腔開拓の前準備 (見やすくすること)  
修復物はできるだけ除去する  
根管が見つからないのは角度がずれ  
ているから

**4. 根管口付近の拡大**  
エンド三角除去の重要性  
根管口付近の拡大を根管形成の前に  
行っておくと、その後の根管形成  
が非常にスムーズにできる

**5. 根管口の位置と数の確認**  
削る  
よく見えるようにする  
X線写真を利用する

**6. 根管作業長の決定 (根管長測定法)**  
種々の根管長測定法から総合的に根  
管作業長を決める  
電氣的根管長測定法 (EMR) は簡便  
であり、最も正確

**7. 根管形成**  
どういった形の根管形成がよいのか  
Standardized preparation (標準化さ  
れた根管形成) とは

アピカルシートは不要である  
ステップバック法  
クラウンダウン法とは  
Early flaring

根管形成時のさまざまなトラブル  
レジン形成しないためには  
**8. 根管形成に関するそのほかの疑問**  
根管内にファイルが認められた。除  
去に超音波ファイルは有効か  
根管が閉塞している。どうしたらよ  
いか

根管が彎曲している。どう根管形成  
したらよいか  
プレカーブのつけ方

**9. 洗浄方法**  
根尖孔が穿通されていなければ根尖  
部根管は洗浄できない  
細い洗浄針のほうが安全  
サイドに穴が開いた洗浄針がいつも  
安全だとは限らない

1mLのシリンジが安全で使いやすい  
なかなか取れない水酸化カルシウム  
ペースト

シリンジでの洗浄のコツ

**10. 根管充填**  
根管充填の時期  
垂直加圧充填法のほうが側方加圧充  
填法よりも優れている

垂直加圧充填法の利点は根尖孔の  
封鎖がより確実であること  
垂直加圧充填法に対する批判  
側方加圧充填法はたまにやってみ  
てみるが、垂直加圧充填法は  
いつもやっていると上手にでき  
ない

垂直加圧充填していると根管形成が  
上手になる  
MTA 根管充填

**11. 再治療**  
再治療する場合  
非外科的再治療時に遭遇する技術的  
問題点

歯冠の崩壊が大きく、ラバーダム防  
湿が難しい  
長いポストの除去が困難である場合  
ファイバーポストの除去  
根管充填材の除去が困難である場合  
ガッタパーチャの除去方法  
コラム: MicroEx

銀ポイントの除去  
MTAの扱い方  
**12. 破折ファイルの除去**  
根管内にファイルが折れ込まれてい  
ることも多い

**13. 除去できなかった場合**  
バイパス形成  
外科的に除去する  
他院で自分の折ったファイルを見つ  
けられ患者さんに怒罵り込まれて  
困っている

筆者がファイル除去を依頼されたら  
**14. その他**  
最近作った補綴物が装着されてい  
る。臨床症状があるので放置でき  
ない。どうするか

割れていると思っても、補綴物を除  
去して慎重に診査する  
迷ったときには再治療する  
エンドでここまでできる

**15. 経過観察**  
自信のない場合にはリコールしメイ  
ンテナンスを繰り返す

医歯薬出版 ご注文承り書

新 楽しくわかるクリニカルエンドドントロジー

( ) 冊

( ) 冊

ご指定納入店 [

](納入店ご指定の場合  
手数料はかかりません)

直送希望 (一回の発送につき手数料  
400円が別途かかります)

●お名前

●ご住所 (〒 - )

●TEL.

★必要事項をご記入の上、FAX. 03-5395-7633にご送信ください。★弊社ホームページ <http://www.ishiyaku.co.jp/>からもお申し込みいただけます。

医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL. 03-5395-7630